

## 創立十周年記念式典 式辞

秋も極まり、木々の葉が見事に色づく季節となりました。本日この佳き日に、大阪府立緑風冠高等学校創立十周年記念式典の開催にあたり、公私ともにご多用のところ、多くのご来賓の方々のご臨席を賜り、高いところからではございますが厚くお礼申しあげます。

本校は、府立高等学校特色づくり再編整備計画に基づき、大阪府立大東高等学校と南寝屋川高等学校が統合され、両校の輝かしき伝統を受け継ぎ、「英知」と「至誠」を校訓とし、平成18年4月に、開校いたしました。

緑風冠という校名は、たくさんの候補の中から選ばれたと聞いております。

校名決定の趣意書によりますと、「飯盛山を東に臨み、北には深北緑地が横たわり、緑豊かな自然環境に恵まれたこの地で、新たな風が青葉越しにさわやかに吹く『緑風』となつて、地域に希望をもたらし、青葉、若葉に象徴される未来ある高校生を育てていく、その意義を『冠』の字にこめ、新しい栄光、栄冠を獲得して素晴らしい学校となる願いを託す」とされております。

そして、今年、めでたく創立10年目を迎えることができました。

これも、ひとえに教育委員会を始めとして、PTA、同窓会、後援会の皆様方、また、地域の方々の暖かいご支援ご協力をいただき、さらには、教職員一人ひとりの熱き思いとそれに応えた生徒諸君の努力の賜であります。ここに慎んで深い感謝の気持ちと敬意を表すものであります。

本校は、普通科総合選択制を敷き、「人文・文化」「理数・自然」「人間・教育」「英語・国際」「表現・活動」「生命・環境」の6つのエリア設定し、生徒の興味、関心、進路に合わせて柔軟な授業選択ができることを特色としております。その中で生徒は自らの力を伸ばし、希望の進路を実現できるようになってきました。これまで、1期生から7期生まで1814人が社会に巣立ち、卒業生が各方面で活躍されていることは嬉しい限りです。

そうした中で、授業以外でも、文化祭や体育祭などの行事、また部活動にも力を入れてまいりました。今年は、演劇部が近畿地区代表として全国大会に出場し、優秀賞を獲得しました。

先日、11月3日の文化の日には、大東市より文化芸術賞の表彰をしていただきました。生徒主体の活動においても、今後一層の活躍が期待されるところです。

また、今年度より、インクルージョンの理念のもと、大阪府が推し進める「ともに学び、ともに育つ」教育を実践するために、本校に大阪府立むらの高等支援学校の共生推進教室が設置されました。

共生推進教室の愛称を「ヒカリ教室」と名づけ、4月には、1年生3名を迎えました。「ヒカリ」という名前には、緑風冠高校に集うすべての生徒が、障がいのあるなしに関わらず、一人ひとりがかけがえのない光源としてひかり輝いてほしいという願いを込めています。「ヒカリ」教室の存在が、自分を大切にし、他の人も大切にできる人間を育ててくれると確信します。

さて、本校はまだまだ創立10年目の若い学校です。人の成長に例えれば、やっと小学校4年生になったところです。これから思春期を迎え、悩み、数々の経験をして、若木のようにしなやかな感性と強さを持って、次の10年で大きく成長することを期待します。

そして、二十歳になった時には、生徒諸君の手で20周年式典が企画され実行されるような活力ある緑風冠高校であることを願います。その時は、今ここにいる皆さんが卒業生として、在校生をどうか支えてやってください。

今以上に、意欲と実行力のある人の育つ学校となるように、教職員と生徒が一緒になって努力を続けていきたいと思います。

結びに、創立十周年記念行事の実施にあたり、実行委員会の皆様には、一方ならぬご努力を賜りましたことに、深くお礼申し上げます。

10周年という節目の年に当たり、改めてこれまでの本校の歴史に思いを致すとともに、これまで以上に生徒や保護者、卒業生、府民の皆様の期待に応えられる教育を推進してまいります。

本日ご臨席の皆様方には、今後とも本校の教育活動に対して、ご理解とご支援を賜りますことをお願い申し上げますとともに、皆様のご多幸を祈念申し上げ、式辞といたします。

平成27年11月19日

大阪府立緑風冠高等学校 校長 井上慎一